

取扱説明書

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止（してはいけないこと）を示す記号です。

分解してはいけないことを示す記号です。

濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

触れてはいけないことを示す記号です。

水がかかるといけないことを示す記号です。

指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。

電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

ACケーブルは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACケーブルを容易に引き抜くためです。

付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。

付属品のACケーブル・電源アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。

電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。

テーパータップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに電源を切り、ACケーブルをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。

水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。

本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、ACケーブルをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、本機の電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

分解や改造をしない。感電の原因になります。

調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。

直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のをばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。

オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

音が歪んだ状態で長時間使用しない。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

注意

濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。

長期間本機を使用しないときは、ACケーブルをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。

ACケーブルを抜くときは、電源コードを引っぱらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

ACケーブルは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACケーブルを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

不安定な場所や振動する場所には設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。

移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

薬物厳禁 ベンザン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

Bluetooth に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- ・2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- ・本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・本機を分解/改造すること。
- ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてBluetooth® FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

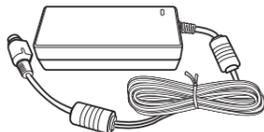
- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

本機の特長

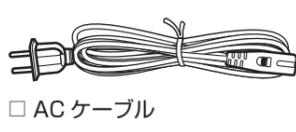
- ◆ Bluetooth2.1+EDR 準拠、A2DPに対応
- ◆ サテライトスピーカー+サブウーファー、2.1chスピーカーシステム
- ◆ クリーンでパワフルな総合40Wのデジタルアンプ
- ◆ 外部入力端子を装備

付属品

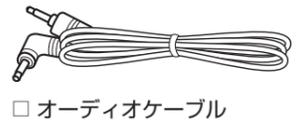
お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。



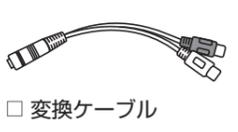
□ 電源アダプタ



□ ACケーブル



□ オーディオケーブル



□ 変換ケーブル

□ 日本語取扱説明書（本紙）

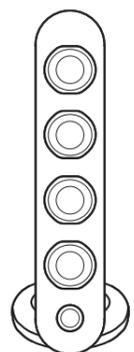
□ 英語取扱説明書

□ 保証書

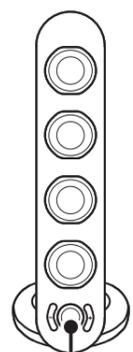
各部の名称とはたらき

▶ サテライトスピーカー

左チャンネル



右チャンネル

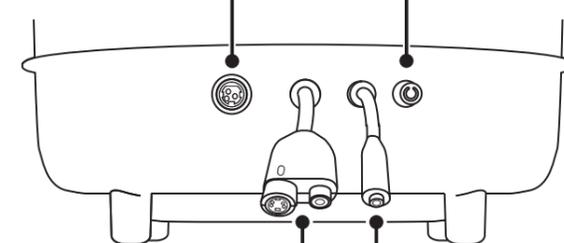


+/-パッド
再生音量を調節します

▶ サブウーファー背面下部

電源端子
付属の電源アダプタを接続します

電源ボタン



スピーカー接続端子
付属のスピーカーを接続します

音声入力端子
お手持ちのオーディオ機器やPCを接続します

ご使用前の準備

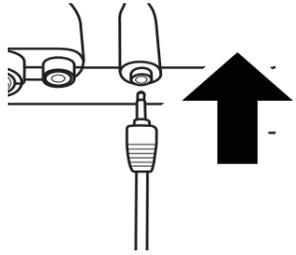
▶ 本機を設置する

お聞きになる位置から左右のサテライトスピーカーまでの距離が同じになるように設置します。サブウーファーはお聞きになる位置から離れすぎない位置に設置します。また、サブウーファーは絨毯など柔らかいものの上には設置しないでください。

▶ Bluetooth のペアリングをおこなう

「Bluetooth を使用して再生する」の「ペアリングをおこなう」をご覧ください。

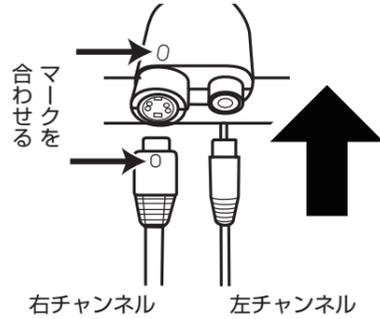
▶ オーディオ機器・PC を接続する



- ① 付属のオーディオケーブルをサブウーファー背面の音声入力端子に接続します。
- ② もう片方のコネクタをお手持ちのオーディオ機器・PC の 3.5mm ステレオ音声出力端子に接続します。

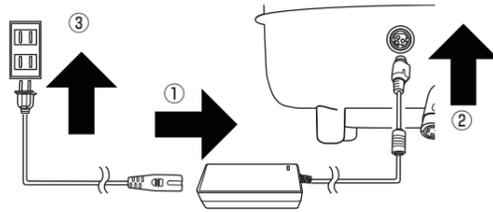
お手持ちのオーディオ機器・PC と RCA オーディオケーブルで接続する場合は、付属のオーディオケーブル・変換ケーブルと、市販の RCA オーディオケーブルを接続してお使いください。

▶ サテライトスピーカーを接続する



左右のサテライトスピーカーをサブウーファーのスピーカー接続端子に接続します。端子は左右のサテライトスピーカーで異なりますので、端子の形を確認して接続してください。右チャンネルの端子は、端子とコネクタのマークを合わせて接続してください。

▶ 電源アダプタを接続する



- ① 電源アダプタと AC ケーブルを接続します。
- ② 電源アダプタを電源端子に接続します。
- ③ AC ケーブルを壁面のコンセントに接続します。
本機は国内外でお使いいただけます。海外でご使用の際は、ご使用になる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。

基本操作

▶ 電源を入れる

- サブウーファー背面下部の電源ボタンを押して電源を入れます。電源が入ると、サブウーファー内部の LED が白色に点灯します。
- 再度電源ボタンを押すと、電源がオフになります。

▶ 音声を再生する

- 本機に接続しているオーディオ機器・PC で再生を開始すると、本機で音声が再生されます。
- Bluetooth を使用して音声を再生する場合は、「Bluetooth を使用して再生する」の「Bluetooth 再生をおこなう」をご覧ください。

本機に接続しているオーディオ機器・PC と、Bluetooth 接続している機器の両方で再生を開始すると、本機からは両方の音声が再生されます。

▶ 音量を調節する

- +/-パッドに触って、本機の音量を調節します。
- +/-パッドを長押しすると、音量をすばやく調節することができます。
- サブウーファー背面下部の電源ボタンを回すと、サブウーファーから再生される低音の音量を調節することができます。

▶ 音声をミュートする

- +/-パッドの+と-を同時に触って、本機の音声をミュートします。
- +/-パッドのどちらかに触ると、ミュートを解除します。

Bluetooth を使用して再生する

本機を Bluetooth でお手持ちの iPhone・iPod touch・iPad や PC など、対応した機器に接続すると、機器上の音楽を本機の高品質な音質でストリーミング再生することができます。

▶ ペアリングをおこなう

Bluetooth を使用して再生するためには、お手持ちの機器と本機を互いに認識させる「ペアリング」を行う必要があります。一度ペアリングを行うと、本機とその機器とは自動的に接続するため、ペアリングを行う必要はありません。別の機器と新たにペアリングをおこなった場合は、本機は前にペアリングした機器とは接続できなくなりますので、前にペアリングした機器と接続したい場合は、再びペアリングをおこなう必要があります。

ここに挙げた以外の機器でも、対応していればペアリングをおこない、Bluetooth を使用して再生することができます。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

Mac OS X でペアリングを行う

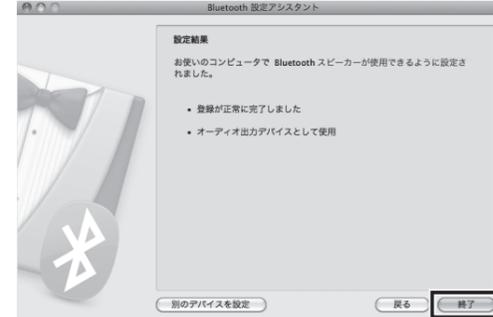
- ① サブウーファー背面下部の電源ボタンを押して、電源をオンにします。サブウーファー内部の LED が白色に点灯します。
- ② メニューバーの Bluetooth アイコンをクリックし、「Bluetooth デバイスを設定 ...」をクリックします。



- 「Bluetooth 設定アシスタント」が開きます。
- ③ 「SoundSticks W」をクリックして、選択されていることを確認して、「続ける」をクリックします。

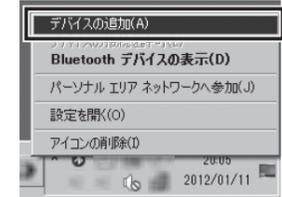


- ④ 「終了」をクリックします。



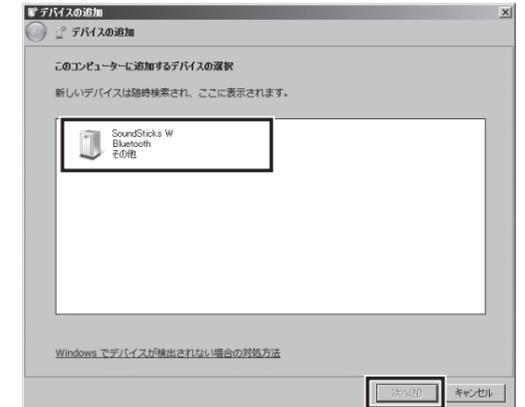
Windows 7 でペアリングを行う

- ① サブウーファー背面下部の電源ボタンを押して、電源をオンにします。サブウーファー内部の LED が白色に点灯します。
- ② タスクバーの Bluetooth アイコンをクリックし、「デバイスの追加 (A)」をクリックします。



「デバイスの追加」が開きます。

- ③ 「SoundSticks W」をクリックして選択し、「次へ (N)」をクリックします。



- ④ 「閉じる (C)」をクリックします。



Bluetooth を使用して再生する（続き）

iPhone・iPod touch・iPad でペアリングを行う

① サブウーファー背面下部の電源ボタンを押して、電源をオンにします
サブウーファー内部のLEDが白色に点灯します。

② 「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップします。



③ 「デバイス」から「SoundStick...」を選択します。



Android を搭載した携帯電話でペアリングを行う

ここに挙げた手順は一例です。詳しくはお手持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

① サブウーファー背面下部の電源ボタンを押して、電源をオンにします
サブウーファー内部のLEDが白色に点灯します。

② 「設定」→「無線とネットワーク」→「Bluetooth 設定」の順にタップします。



③ 「Bluetooth 端末」から「SoundSticks Wireless」を選択します。



▶ Bluetooth 再生をおこなう

Bluetooth を使用して再生するためには、Bluetooth で接続した後、本機を再生機器として設定する必要があります。正しく設定されると、サブウーファー内部の Bluetooth ロゴが青く光ります。

Mac OS X で設定する

▶ メニューバーの Bluetooth アイコンをクリックし、「SoundSticks Wireless」をクリックした後、「オーディオデバイスとして使用」をクリックします。



Windows 7 で設定する

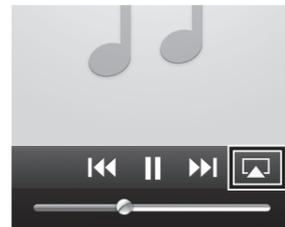
① コントロールパネルの「サウンド」をダブルクリックして開きます。



② 「スピーカー Bluetooth オーディオ」を右クリックし、「既定の通信デバイスとして設定 (D)」をクリックします。

iPhone・iPod touch・iPad で設定する

① 音楽の再生時にアイコンをタップします。



② 「SoundSticks Wireless」をタップします。



Android を搭載した携帯電話で設定する

Bluetooth 接続が完了すると、自動的に本機から音声がかかりますが、自動的に再生されないことがあります。その場合は以下の手順に従って下さい。

① 「設定」→「無線とネットワーク」→「Bluetooth 設定」の順にタップします。



② 「Bluetooth 端末」から「SoundSticks Wireless」をタップします。
接続が完了すると、「携帯電話とメディアの音声に接続」と表示されます。



トラブルシューティング

原因	解決法
サブウーファー背面下部の電源ボタンを押しても電源が入らない	電源アダプタ・AC ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
電源は入るが、音が出ない	Bluetooth を使用している場合は、お手持ちの機器で正しく設定されていることを確認下さい。 音声を再生しているオーディオ機器・PCの再生が一時停止になっていないかご確認ください。 オーディオケーブルやサテライトスピーカーが正しく接続されていることをご確認ください。 +/-パッドに触って、ミュートになっていないかご確認ください。 +/-パッドの+に触って音量を上げてください。 3.5mm ステレオミニプラグつきケーブルを使用している場合は、本機の音量設定が最大になっていることをご確認ください。また、オーディオ機器・PCの音量設定が小さすぎる可能性があります。最大音量の7〜8割に設定することをおすすめします。
ペアリングできない	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。別の機器と接続しているときは、サブウーファー内部の Bluetooth ロゴが青く点灯します。ペアリングをおこなうためには、Bluetooth ロゴが消灯している必要があります。

主な仕様

定格出力	40W (サテライト：10W × 2、サブウーファー 20W)	電源	電源アダプタ (100V ~ 240V (50Hz / 60Hz))
スピーカー構成	サテライトスピーカー： 25mm 径ネオジウムドライバー左右各 4 個 サブウーファー： 150mm 径ネオジウムドライバー × 1	消費電力	30W 以下
システム周波数特性	44Hz ~ 20kHz	サイズ	サテライトスピーカー： 直径 51mm × 高さ 254mm サブウーファー： 直径 232mm × 高さ 258mm
Bluetooth	Bluetooth 2.1+EDR	重量	サテライトスピーカー： 0.7kg × 2 サブウーファー： 2.2kg (本体のみ)
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	付属品	電源アダプタ × 1 AC ケーブル × 1 オーディオケーブル × 1 変換ケーブル × 1 取扱説明書 (本紙) 各国語取り扱い説明書 保証書 (日本国内 1 年保証)
周波数	2.400GHz ~ 2.4835GHz		
周波数変調方式	FHSS (周波数拡散方式)		
伝送距離	Class 2 最大半径 10m (障害なきこと)		
音声入力	Bluetooth × 1、 3.5mm ステレオミニ × 1		

* 仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

▶ **オンラインご愛用者登録のご案内**

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では JBL 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など JBL 製品の最新情報をお送りいたします。

▶ **アフターサポート**

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。
<http://www.harman-japan.co.jp/>

HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社

© 2012 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.